VIRTUS

二段階認証 設定マニュアル

ログインのときに、ログインID・パスワードに加えて、もう1段階の本人確認を行います。
2種類の認証方法の設定手順と、ログインのしかたを実際の画面でご案内します。

2026年11月版（11月5日改訂）

OVERVIEW

全体の流れ

二段階認証の登録から、ご利用開始まで

1. **ログイン**
   ログインID・パスワード
2. **認証方法を選ぶ**
   パスキー／認証アプリ
3. **登録**
   端末・アプリに登録
4. **復旧コードを保存**
   10個・表示は今回だけ
5. **登録完了**
   管理画面へ

はじめて表示されたとき

「二段階認証の設定」画面が表示されたら、パスキーか認証アプリのどちらかを登録してください。**登録が終わるまで、管理画面には進めません。**

2回目以降のログイン

ログインID・パスワードのあとに、登録した方法で本人確認します。**ログインID・パスワードの入力から10分以内**に完了してください。

2種類の認証方法

お使いの環境に合わせて、どちらか1つをお選びください

	パスキー	認証アプリ
本人確認のしかた	端末の画面ロック（顔認証・指紋認証・PIN）	認証アプリに表示される6桁のコードを入力
必要なもの	画面ロックを設定したパソコン・スマートフォン	スマートフォンと Google Authenticator アプリ
ログインのとき	「パスキーで認証する」を押して本人確認	30秒ごとに切り替わるコードを入力
複数の端末で使う	端末ごとに追加します（上限なし・P.18〜） 同期される保存先（Google パスワードマネージャー／iCloud キーチェーン）に保存すると、他の端末でもそのまま使えます（P.19）	追加は不要です。スマートフォン1台のアプリのコードを、どの端末のログインにも使います
設定手順	P.3 → P.4 → P.7	P.3 → P.5 → P.6 → P.7
登録できる数	**パスキーか認証アプリの、どちらか1つ（あとから変更できます P.12）**	

- メール・SMS での認証はありません。
- パスキーを作成できない端末では、認証アプリをお選びください。
- 1つのアカウントは1人で使います（P.16）。

※パソコンとスマートフォンの両方でお使いになる場合は、**「認証アプリ」が最も簡単です**（端末の追加が不要です）。

※パスキーとは、お使いの端末（パソコン・スマートフォン）そのものを鍵として使う、本人確認の方法です。パスワードの代わりに、端末の顔認証・指紋認証・PIN（暗証番号）で本人確認を行います。端末をお持ちのご本人だけがログインできるため、安全性の高い方法です。

STEP 01・02

認証方法を選ぶ

ログインすると「二段階認証の設定」画面が表示されます

操作手順

1. ログインIDとパスワードでログインします
2. 「二段階認証の設定」画面が表示されます
3. 使う方法の「パスキーを設定する」または「認証アプリを設定する」を押します

ポイント

登録できる認証方法は1つです。あとから「アカウント設定」の「二段階認証」タブで変更できます。



STEP 03 パスキーの場合

パスキーを登録

端末の画面ロックで、パスキーを作成します

VIRTUS

パスキー

操作手順

1. 「パスキーを作成する」を押します
2. 端末の確認画面が表示されます
   パソコンでスマートフォンに保存するときは、表示されるQRコードをスマートフォンで読み取ります
   複数の端末でお使いになる予定の方は、保存先に「Google パスワードマネージャー」などの同期される保存先を選ぶと、他の端末でもそのままログインできます（P.19）
3. 顔認証・指紋認証・PINで本人確認します
4. 作成できたら、復旧コードの保存に進みます（P.7）



作成できないときは

端末に画面ロック（PIN・指紋・顔認証）が設定されているかご確認ください。設定できない場合は、認証アプリをお選びください。

①認証アプリに追加

スマートフォンの認証アプリに、VIRTUS のアカウントを追加します

操作手順

1. スマートフォンに Google Authenticator をインストールします
   App Store・Google Play から入手できます
2. 画面のQRコードをアプリで読み取ります
   アプリの「アカウントの追加」から読み取ります
3. アプリに6桁のコードが表示されたら「次へ」を押します

QRコードを読み取れない場合

アプリの「セットアップキーを入力」から、画面に表示された設定キーをご入力ください。「キーの種類」は「時間ベース」のままで問題ございません（通常は自動で選択されています）。スマートフォンでこの画面を開いたときは「認証アプリを開く」ボタンで追加できます。



②認証コードの入力

アプリに表示されたコードで、登録を確認します

操作手順

1. アプリに表示されている6桁のコードを入力します
2. 「認証する」を押します
3. 復旧コードの保存に進みます（P.7）

コードが通らないときは

- 最新のコード（30秒ごとに切り替わります）を入力してください
- 複数のアカウントがある場合は「VIRTUS」のコードかご確認ください
- スマートフォンの日付と時刻が自動設定になっているかご確認ください



STEP 04

復旧コードの保存

端末をなくし、顔認証・指紋認証や認証アプリが使えなくなったときに、代わりにログインするための「予備の鍵」です

操作手順

1. 画面に表示された10個のコードを、「すべてコピー」または「ダウンロード」で保存してください
2. **【重要】このコードが表示されるのは今回の1回だけです。**あとからは見られません。必ずこの場で保存してください
3. 保存できましたら「復旧コードを安全な場所に保存しました」にチェックを入れ、「次へ」を押してください

安全な保管方法の例

- 紙に印刷し、鍵のかかる引き出しなど、ほかの方の目に触れない場所に保管する
- パスワード管理アプリに保存する

※ログインに使うスマートフォンの中だけに保存すると、なくされた際に使えません。別の場所にも控えてください。
※復旧コードはご本人だけのものです。ほかの方に渡さないでください。



STEP 05

登録完了

お手続きはここまでです

この後の流れ

- 「パスキーの登録が完了しました」「認証アプリの設定が完了しました」と表示されたら完了です
- 「アプリを利用する」を押すと、管理画面に進みます
- 次回からは、ログインID・パスワードのあとに、登録した方法で本人確認します

端末をなくしたときは

保存した復旧コードでログインしてください（P.13）。復旧コードもない場合は、運営へお問い合わせください（P.14）。



パスキーでログイン

パスキーを登録した方

パスキー

操作手順

1. ログインIDとパスワードでログインします
2. 「パスキーで認証する」を押します
3. 顔認証・指紋認証・PINで本人確認すると、ログインできます

ポイント

一度パスキーでログインした端末では、ログイン画面に「パスキーでログイン」ボタンが表示されます。ログインID・パスワードを入力せずにログインできます。



認証コードでログイン

認証アプリを登録した方

VIRTUS

認証アプリ

操作手順

1. ログインIDとパスワードでログインします
2. アプリに表示されている6桁のコードを入力します
3. 「認証する」を押すと、ログインできます

入力を間違えたときは

5回続けて間違えると、15分間入力できなくなります。画面に表示された時刻以降に、もう一度お試しください。



パスキーを追加する

パスキーは、お使いの端末ごとに何台でも登録できます

パスキー

操作手順

1. 「アカウント設定」の「二段階認証」タブを開きます
2. 「パスキーを追加」を押します
3. 「本人確認に進む」を押し、パスキーで本人確認します
4. 「パスキーを作成する」を押して、新しいパスキーを作成します

登録できるパスキー

登録できる数に上限はありません。パソコンとスマートフォンの両方で使う手順は P.18〜をご覧ください。使っていないものは「二段階認証」タブの「削除」で消せます（最後の1件を除く）。



認証方法を変更する

機種変更などで、認証方法を変えるとき

操作手順

1. 管理画面にログイン後、「アカウント設定」のメニュー内にある「二段階認証」タブで「認証方法を変更する」を押します
2. 「本人確認に進む」を押し、今の方法で本人確認します
3. 新しい認証方法を選んで登録します
   同じ方法を選び直すこともできます
4. 新しい復旧コードを保存すると、変更が完了します

ご注意

変更が完了すると、今までの認証方法と復旧コードは使えなくなります。今の方法が使えないときは、画面下の「復旧コードで本人確認」から進めます（復旧コードを1個使います）。



復旧コードでログイン

スマートフォンや端末をなくした・機種変更したとき

操作手順

1. ログインIDとパスワードでログインします
2. 二段階認証の画面で「復旧コードを使う」を押します
3. まだ使っていない復旧コードを1つ入力します
4. ログイン後、「アカウント設定」の「二段階認証」から認証方法を変更してください（P.12）
   変更の本人確認でも、復旧コードをもう1個使います

復旧コードが少なくなったら

残りが3個以下になるとお知らせが表示されます。「二段階認証」タブの「作り直す」から、新しいコードを発行できます。



ログインできない場合

二段階認証の画面の「ログインできない場合」から開けます

状況別のご案内

- **パスワードを忘れた**　「パスワードを再設定する」から
- **認証コードが通らない**　P.6 をご確認ください
- **認証アプリ・パスキーが使えない**　復旧コードでログイン（P.13）
- **復旧コードもない**　運営へお問い合わせください

復旧コードもない場合

公式LINE または cs@virtuspayment.com へご連絡ください。
本人確認のうえ二段階認証の設定を解除し、次回ログイン時に設定し直していただきます。



よくあるご質問

ご質問	回答
認証方法は何種類ありますか？	パスキーと認証アプリ（Google Authenticator）の2種類です。登録できるのはどちらか1つで、あとから変更できます
パスキーはいくつ登録できますか？	上限はありません。お使いの端末ごとに「アカウント設定」→「二段階認証」→「パスキーを追加」から何台でも登録できます。同じ端末でも、保存先（パソコン本体・Google パスワードマネージャーなど）を変えると別のパスキーになります
設定をあとにできますか？	できません。二段階認証の登録が終わるまで、管理画面には進めません
認証コードが通りません	最新のコード（30秒ごとに切り替わります）か、「VIRTUS」のコードか、スマートフォンの日時が自動設定かをご確認ください
入力できなくなりました	5回続けて間違えると15分間入力できません。表示された時刻以降に、もう一度お試しください
「時間切れ」と表示されました	ログインID・パスワードの入力から10分以内に二段階認証を完了してください。ログインからやり直してください
スマートフォンをなくした・機種変更した	復旧コードでログインし、「アカウント設定」→「二段階認証」から認証方法を変更してください
復旧コードをなくした	ログインできる場合は「二段階認証」タブの「作り直す」から新しいコードを発行できます。ログインできない場合は運営へお問い合わせください

1つのアカウントは1人で使います

二段階認証は、アカウントの持ち主が自分の端末で登録して使うしくみです

共有してはいけない理由

- 誰が操作したのか区別できません
- 1人が「認証方法を変更する」（P.12）と、ほかの人の端末ではログインできなくなります
- 復旧コード（10個）をみんなで使うと、すぐになくなります

次の使い方はおやめください

- Google Authenticator を Google アカウントで同期して、複数人で同じコードを使う
- 復旧コードで本人確認して、ほかの人の端末にパスキーを追加する
- ログインID・パスワード・復旧コードを、グループチャットなどで共有する

共有していた場合の切り替え

1. オーナーアカウントで、スタッフごとのアカウントを作ります（P.17）
2. 各スタッフが自分のアカウントでログインし、自分の端末で二段階認証を登録します（P.3〜）
3. 共有していたアカウントは、持ち主が「認証方法を変更する」（P.12）で登録し直します
   ほかの人の端末のパスキーや、同期していた認証アプリのコードは使えなくなり、復旧コードも新しくなります

スタッフのアカウントを作る

スタッフのアカウントを追加できるのは、オーナーアカウントだけです

操作手順

1. オーナーアカウントでログインします
2. 「ユーザー管理」→「＋ ユーザー追加」を押します
3. 右の項目を入力して、追加します
4. 入力したメールアドレスに、仮パスワードが届きます
5. スタッフは、ログインIDと仮パスワードでログインし、自分の端末で二段階認証を登録します（P.3〜）

詳しくは

管理画面の「マニュアル」→「アカウント・権限」→「ユーザーの追加・管理」でもご確認いただけます。

入力する項目	内容
ログインID	ログインに使うID（例：yamada_staff）
メールアドレス	スタッフ本人が受け取れるもの 仮パスワードが届きます
姓・名	スタッフの氏名
権限	担当者（指定店舗のみ） 追加するユーザーは担当者権限だけです
言語・タイムゾーン	表示する言語と地域
アクセス可能店舗	そのスタッフが使う店舗（1件以上）

パソコンとスマートフォンの両方で使う

※この章は、複数の端末でログインされる方向けのご案内です。1台のみでご利用の方は、お読みいただく必要はございません。

いちばん簡単な方法

複数の端末でお使いになるなら、**「認証アプリ」または「同期される保存先に保存したパスキー」が最も簡単です**（端末の追加が不要です）。P.20〜21 は、パソコン本体などその端末だけに保存したパスキーを、別の端末でも使えるようにする方法です。

こんなとき	方法	必要なもの
認証アプリを使っている	追加は不要です。どの端末でも、アプリのコードでログインします	認証アプリを入れたスマートフォン1台
同期される保存先に保存した	同じアカウントでログインしたほかの端末でも、そのまま使えます（P.19）	同じアカウント（Google・Apple）
パソコンでパスキーを登録した	パソコンから、スマートフォンにパスキーを追加します（P.20）	パソコンとスマートフォンの両方の Bluetooth とインターネット
スマートフォンでパスキーを登録した	スマートフォンでパソコンにログインし、パソコンにも追加します（P.21）	

同期される保存先を使う

端末を追加しなくても、同じアカウントのほかの端末でそのまま使えます

VIRTUS

パスキー

パスキーは保存した場所で使います

スマートフォンのパスキーで、パソコンにログインすることはできます（QRコードを読み取ります）。**パソコン本体に保存したパスキーで、スマートフォンにログインすることはできません。**

同期される保存先とは

Google パスワードマネージャー（Chrome）や iCloud キーチェーン（iPhone・Mac）のことです。ここに保存したパスキーは「二段階認証」タブに「同期されるパスキー」と表示されます。

登録するとき	パスキーを作成する確認画面で、保存先に「Google パスワードマネージャー」（Chrome）や「iCloud キーチェーン」（iPhone・Mac）を選びます。表示は端末やブラウザによって異なります
Android で使う	同じ Google アカウントでログインしていれば、そのまま使えます
iPhone で使う	iCloud キーチェーンのパスキーは、同じ Apple アカウントの iPhone・iPad・Mac で使えます。 Google パスワードマネージャーのパスキーは、Chrome アプリに同じアカウントでログインし、設定の「自動入力とパスワード」で Chrome をオンにすると使えます（iOS 17 以降）
ご注意	Google アカウント・Apple アカウントは、ご本人のものをお使いください。共有のアカウントでは、1つのアカウントを複数人で使うのと同じことになります（P.16）

パソコンからスマートフォンに追加

パソコンでパスキーを登録した方が、スマートフォンでも使うとき

パスキー

操作手順（パソコンで操作します）

1. 「二段階認証」タブの「パスキーを追加」を押します
2. 「本人確認に進む」を押し、パソコンのパスキーで本人確認します
3. 「パスキーを作成する」を押します
4. 保存先に「iPhone、iPad、または Android デバイス」を選びます
5. 表示されたQRコードをスマートフォンのカメラで読み取り、スマートフォンで本人確認します

始める前に

パソコンとスマートフォンの両方で、Bluetooth をオンにしてインターネットにつないでください。確認画面の表示は、パソコンやブラウザによって異なります。



スマートフォンからパソコンに追加

スマートフォンでパスキーを登録した方が、パソコンでも使うとき

パスキー

操作手順（パソコンで操作します）

1. ログインID・パスワードを入力し、「パスキーで認証する」を押します
2. 「iPhone、iPad、または Android デバイス」を選び、QRコードをスマートフォンで読み取って本人確認します
3. ログインできたら、「二段階認証」タブの「パスキーを追加」→「本人確認に進む」で、もう一度同じように本人確認します
4. 「パスキーを作成する」を押し、保存先にこのパソコンを選びます

始める前に

両方の端末の Bluetooth とインターネットに加えて、パソコンの画面ロック（Windows は PIN）が必要です。



うまく進まないとき

パスキーの追加やログインで止まったときは、次をご確認ください

こんなとき	ご確認・対処
スマートフォンでQRコードの画面になる	そのスマートフォンには、まだパスキーがありません。パソコンから追加してください（P.20）
QRコードを読み取っても進まない	パソコンとスマートフォンの両方で、Bluetooth がオンか、インターネットにつながっているかをご確認ください
パソコンに Bluetooth がない	QRコードでつなぐ方法は使えません。同期される保存先（P.19）を使うか、認証方法を認証アプリに変更してください（P.12）
確認画面が閉じる・キャンセルになる	約2分で自動的に閉じます。もう一度お試しください。Edge で進まないときは、Google Chrome などでもお試しください
端末に保存できない	パソコン：画面ロックが必要です（Windows は「設定」→「アカウント」→「サインイン オプション」で PIN を設定） iPhone：「設定」→ ご自分の名前 →「iCloud」で「パスワードとキーチェーン」をオンにしてください
それでも進めない	認証アプリに変更すると（P.12）、端末を追加せずにどの端末からもログインできます パスキーのままなら、使いたい端末で復旧コードでログインして追加できます（この方法は復旧コードを2個使います。残りが少ない場合は、あとで「作り直す」で補充してください。まずは「認証アプリ」や「同期される保存先」のご利用をおすすめします）

復旧コードについて

復旧コードは、端末をなくされたときなどにお使いいただく、非常用の予備コードです

基本	全部で10個あります。1個につき1回だけお使いいただけます 表示されるのは、登録したとき・作り直したとき・認証方法を変更したときの、その場の1回だけです
コードが減るとき	**復旧コードを使ってログイン・本人確認をしたとき**に、1個ずつ使用します（使用したコードは、以降お使いいただけません）。ふだんパスキーや認証アプリで本人確認される場合は、復旧コードは減りません ※復旧コードでログインし、続けて復旧コードで本人確認して認証方法を変更された場合は、ログインで1個・本人確認で1個の、あわせて2個を使用します
すべて新しく入れ替わるとき	「作り直し」をしたとき、または認証方法を変更したときは、新しい10個が発行され、それまでの復旧コードは、**残っている数にかかわらず、すべてお使いいただけなくなります。**保管している内容を、必ず新しいものに差し替えてください
残りが少なくなったら	残りが3個以下になりますと、「二段階認証」タブにお知らせが表示されます。「作り直す」から、新しい10個を発行してください
保管のお願い	紙に印刷する、パスワード管理アプリに保存するなど、ほかの方に見られない安全な場所に保管してください ログインに使うスマートフォンの中だけに保存されますと、その端末をなくされた際に使えません。必ず別の場所にも控えてください 復旧コードはご本人だけのものです。ほかの方にはお渡しにならないでください
すべてなくしてしまった場合	復旧コードもなく、認証アプリ・パスキーもお使いいただけない場合は、公式LINE または メール（cs@virtuspayment.com）までご連絡ください。ご本人確認のうえ、二段階認証の設定を解除いたします

よくあるご質問（複数の端末・アカウント・復旧コード）

ご質問	回答
顔認証・指紋認証・PIN、どれがよいですか？	どれもパスキーでの本人確認のしかたで、別々の認証方法ではありません。お使いの端末で使えるものをお選びください
1つのアカウントを複数人で使えますか？	使えません。スタッフごとにアカウントを作ってください（P.16・P.17）
認証アプリは複数の端末で使えますか？	コードを表示するのはスマートフォン1台のアプリです。パソコン・スマートフォンのどちらでログインするときも、そのコードを入力します。Google アカウントの同期でほかの人と共有するのはおやめください
スマートフォンで、QRコードの画面から進めません	そのスマートフォンには、まだパスキーがありません。パソコンからスマートフォンに追加してください（P.20）
本人確認で使った復旧コードも減りますか？	減ります（復旧コードを使って本人確認した場合）。通常はパスキーや認証アプリで本人確認するため、その場合は復旧コードは減りません
復旧コードを作り直すと、前のコードは？	10個すべてが新しくなり、前のコードは残っている数にかかわらず、すべて使えなくなります。保管しているコードを、新しいものに入れ替えてください。なお、認証方法を変更したときも同様に、すべて新しく入れ替わります

お困りの際は

二段階認証の設定・ログインでお困りの際は、
公式LINEまたはメールでお問い合わせください。担当者が個別にご案内します。

メール：cs@virtuspayment.com
お問い合わせの際は、ご登録のログインIDをお知らせいただくとスムーズです。

公式LINE
lin.ee/qDyGTkm

VIRTUS